

第4回国立公園満喫プロジェクト有識者会議

議事次第

日時：平成29年2月9日(木)

15:00～17:00

場所：環境省第一会議室

1. 開会

2. 議事

(1) 国立公園満喫プロジェクトの実施について

(2) その他

3. 閉会

配付資料一覧

- 資料 1 - 1 国立公園満喫プロジェクト：世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために
- 資料 1 - 2 有識者会議委員による 8 公園現地視察一覧
- 資料 1 - 3 国立公園満喫プロジェクト
ステップアッププログラム 2020 選定 8 公園の取組例
- 資料 1 - 4 ビジターセンター情報発信強化プロジェクト
- 資料 1 - 5 選定 8 公園を中心とした今後の取組について
- 資料 2 国立公園満喫プロジェクトの今後の進め方について
- 参考資料 1 国立公園別訪日外国人利用者数推計値等
- 参考資料 2 - 1 先導的モデルとなる国立公園の選定について
- 参考資料 2 - 2 国立公園満喫プロジェクト実施箇所の選定にあたっての基本的な考え方
- 参考資料 2 - 3 実施箇所の選定にあたってのメルクマール

国立公園満喫プロジェクト:世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために

「最大の魅力は自然そのもの」「高品質・高付加価値のインバウンド市場の創造」

訪日外国人の国立公園利用者数
490万人(2015年)→ 1000万人(2020年)に

ステップアッププログラムの策定

平成28年7月：世界水準の「ナショナルパーク」の候補として8公園を選定

阿寒 十和田八幡平 日光 伊勢志摩
大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島

9月：地域協議会()において、具体的な取組を計画的、集中的に実施するステップアッププログラム策定に着手

()県、市町村、民間事業者等で構成

検討の加速化

各知事等に省幹部が直接要請
アトキンソン氏、石井氏等有識者の現地評価

関係省庁との連携

関係省庁の施策メニューの提示(ビジットジャパン、街並み整備、空屋対策、Wi-Fi環境整備など)
関係省庁の出先機関が地域協議会に参加

12月：各公園毎にステップアッププログラム策定

国、県、市町村、民間事業者は、取組をそれぞれ実施。進度に応じ、第2次補正予算の配分や29年度予算の配分を実施。進捗状況に応じて、プログラムをグレードアップ。

8ヵ所の国立公園における成果を全国の国立公園に水平展開

世界水準の「ナショナルパーク」に向けたブレークスルー

質の高いホテル誘致

阿寒、霧島錦江湾等で上質なホテルの誘致検討について地元合意
日光ではラグジュアリーホテル進出に併せて幅広い層の受入環境を整備



ビジターセンター等公共施設の民間開放

伊勢志摩の英虞湾を望む直轄展望台を民間カフェ導入に向け整備
大山隠岐では官民連携により総合利用拠点を整備し、ツアーデスク等を設置



自然の質を向上させるための新たな仕組みの導入

慶良間諸島で入島時の環境協力税を徴収し、国立公園の環境保全に活用
阿蘇くじゅうにて利用者負担による草原再生検討について地元合意



景観の磨き上げと快適な利用環境の整備

十和田八幡平にて環境省が廃屋を撤去して利用拠点をリニューアル
大山隠岐にて大山方面への景観改善のため無電柱化を実施
各国立公園において、ユニバーサルデザインによる利用施設の整備の加速化



国内外への強力な情報発信

政府観光施策、地元DMO(), 地元メディアとの連携

Visit! Japan事業、地元DMO、地元メディア等との連携による海外広報の実施
Destination Management / Marketing Organization

国立公園オフィシャルパートナープログラム

ANA、JAL、JTB、KTCホールディングス、サントリー等の賛同企業との連携協力。様々な媒体・ツールによる情報発信を実施。

公式SNSの開設

インスタグラム及びフェイスブック公式アカウントにおいて、現地パークレンジャーから、公園の感動を発信



有識者会議委員等による 8 公園現地視察一覧

資料1 - 2

委員名	公園名	日程
キャンベル委員	阿蘇くじゅう	2016年 9月13～15日
アトキンソン委員	大山隠岐	10月24～25日
涌井座長	阿寒	11月1～2日
石井委員 江崎委員	伊勢志摩	11月28～29日
アトキンソン委員	霧島錦江湾	11月28～30日
石井委員	日光	12月5日
石井委員	慶良間諸島	2017年 2月7～8日

その他の有識者 阿寒・十和田八幡平・
日光・大山隠岐

選定8公園における取組例

慶良間諸島国立公園

美ら海慶良間 ~リトリート・海と島がつくるケラマブルーの世界~

保全活動への参加体験や入島時の環境協力税の活用による魅力の向上

- ▶ 入島時に環境協力税の徴収（H29より検討開始）
- ▶ 阿嘉島の養殖施設で育てたサンゴによる自然再生活動の体験



大山隠岐国立公園

日本の大地の成り立ちが刻まれ、神話・信仰が息づく山・島・海
~山から海まで多彩な自然の恵みを楽しむ~

公共施設の民間開放など民間活力を活用し、トレッキングや自然・文化体験など様々なアクティビティを手ぶらで楽しめる総合利用拠点を整備

- ▶ 官民連携により、ツアーデスクやロッカー・更衣室の設置、登山用品の貸出、廃屋撤去や空家の活用によるカフェや土産物店などの誘致（H28年度より着手）
- ▶ キャンプ場再整備と民間事業者によるグランピング等の誘致



阿寒国立公園

火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する

自然の保護を大前提とした新たなアプローチによるアクティビティ、上質で心地よい滞在空間の創出、アイヌ文化の体感などの推進により原生的な自然の世界を堪能

- ▶ 阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー・聖地「釧路川」でのカヌーツアー
- ▶ 眺望を楽しめる場所へのカフェの併設 富裕層をターゲットとした宿泊施設の誘致（H28年度より着手）
- ▶ アイヌの思想・精神に沿ったプログラム

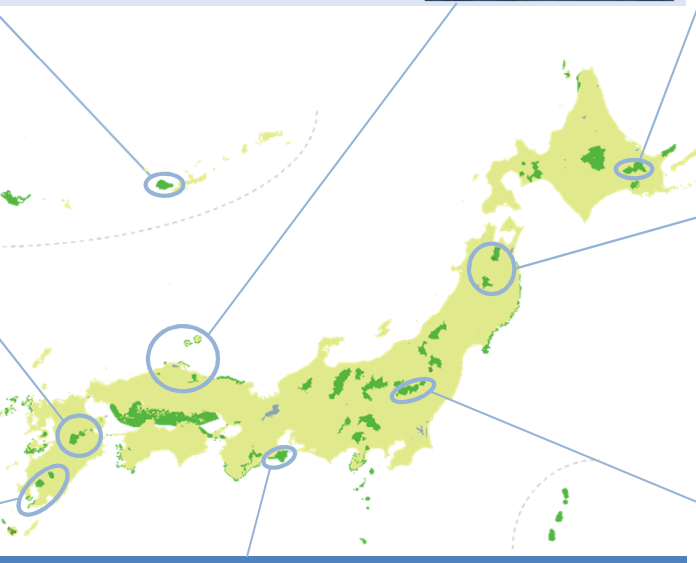


阿蘇くじゅう国立公園

復興の大地 ~草原のかほり、火山の呼吸。人が継ぎ、風と遊ぶ感動の大地~

人の手で引き継がれてきた草原空間を核としたフィールドミュージアム構想を基本とし、利用料負担金による草原再生を検討するとともに、火山と草原が作り出す雄大な景観を味わえる体験を提供

- ▶ フィールドミュージアム拠点施設整備の検討（H29より検討開始）
- ▶ 野焼き、放牧などの継続支援や、利用者負担導入検討による草原再生（H29より検討開始）
- ▶ ホーストレッキング等、草原景観を楽しむ新たなアクティビティの開発
- ▶ 絶景の中を走る道路を活かしたサイクリング・ツーリングコース設定やイベント開催



十和田八幡平国立公園

みちのくの脊梁 ~原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場~

原生自然を堪能する多彩な登山道、昔ながらの趣ある温泉文化を楽しむ。廃屋などの景観を阻害する施設を撤去する「引き算」の景観改善により、魅力的な利用拠点にリニューアル

- ▶ ロングトレイル等の多彩な登山道整備
- ▶ 温泉・秘湯・湯治場での外国人旅行者の受入態勢の強化
- ▶ 休屋休平地区、見返峠の廃屋撤去、魅力的な利用拠点として、総合的再整備（H28年度より着手）

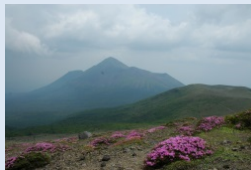


霧島錦江湾国立公園

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾
~まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食~

歴史と神話に彩られた火山景観を体感できる多様なツアープログラム開発や多種多様な泉質の温泉を外国人旅行者も楽しめるよう再整備を検討。上質なホテルの誘致も行き、各地域を長期的に満喫できる滞在型観光へ

- ▶ 登山と神話をミックスさせたツアープログラムの開発
- ▶ 天然温泉掘り・桜島ナイトツアーなど既存プログラムの磨き上げの検討
- ▶ 外国人旅行者が利用しやすい個室露天風呂などへ再整備を検討
- ▶ 上質なホテルやグランピング施設の誘致（H29より着手）



伊勢志摩国立公園

悠久の歴史を刻む伊勢神宮
人々の営みと自然が織りなす里山里海

リアス式海岸の地形と人々の営みがあわせて作りだす優美な里山里海の景観を望む展望台に民間カフェを導入し、ゆっくりと快適な時間を創出

- ▶ 英虞湾を望みゆったりとくつろぐ「天空カフェテラス」の整備（H29より着手）



日光国立公園

NIKKO is NIPPON
自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる東京圏のプレミアムリゾート

上質なホテルの進出も見据えつつ、世界文化遺産「日光の社寺」、旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能できるよう、公共施設を民間開放

- ▶ 那須平成の森フィールドセンターへ、皇族が親しんだ那須の自然を感じながらゆったり休めるカフェスペースの併設など
- ▶ ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討（H29より検討開始）
- ▶ 外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築（H29より着手）



共通の取組

民間企業や関係機関と連携した国内外への魅力発信

国立公園のエントランス標識整備による結界感の創出

ビジターセンターにおける公園利用の総合案内

トイレの洋式化などのユニバーサルデザイン化

阿寒国立公園 満喫プロジェクト

火山と森と湖が織りなす原始的な自然を堪能する


(数値目標) ~ 訪日外国人利用者数 6.3万人(2015年) → 15万人(2020年) ~


特徴①

原始的な自然で過ごす「上質な時間」

眺望や居心地のよい宿泊施設、展望施設、カフェでの滞在、それぞれ特色の異なる温泉での保養など、原始的な自然の魅力を実感しながら上質な時間を過ごす

 眺望や静寂な雰囲気を楽しめる場所へのカフェの併設

 富裕層をターゲットとした宿泊施設の誘致
(H28年度より検討に着手)


 温泉街の再生




特徴②


原始的な自然の「新たな活用」

カヌーやトレッキング、バードウォッチングなど、原始的な自然への新たなアプローチも含めたローインパクトなアクティビティを通じ、自然の雄大さやパワー、生きもののたくましさ直接ふれる

 マリモ観察ガイドツアー、聖地「釧路川」でのカヌーツアー、雲海ツアー
(H29年度までに適切な利用のあり方全体構想を策定)

 新たな魅力地点につながる歩道の整備、エコミュージアムセンターの再整備
(H29年度までに施設整備計画を策定)

 静かな湖畔でのグランピング

 地域の魅力を生かしたロングトレイルの設定


 サイクリングロードの設定



特徴③

「アイヌ文化」の体感

古くから伝わるアイヌの祭事や伝統文化など、我が国の先住民族であるアイヌの文化を体感する

 アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム



アイヌコタン



ビューポイント

公園全体の取組



屈斜路湖



川湯温泉・硫黄山



阿寒湖



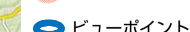
摩周湖



オンネトー・雌阿寒岳



国立公園区域



屈斜路湖の雲海

中標津町

川湯温泉

硫黄山

タンチョウ

至 中標津空港

摩周第一展望台からの眺め

オンネトーからみた雌阿寒岳と阿寒富士

阿寒湖でのカヌーツアー

至 釧路空港

十和田八幡平国立公園 満喫プロジェクト

みちのくの脊梁





～原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場

(数値目標) ～ 外国人利用者数 2015年の3倍(2020年) ～
7千人 → 2.1万人

特徴①

歩いて楽しむ四季の移ろい



山岳を縦走する本格的な登山道から、日帰りで楽しめる登山道まで、原生自然を堪能する多彩な登山道を整備

-  青楓山バイパス整備にあわせて順次マイカー規制を導入し、奥入瀬渓流を静かに堪能
-  ロングトレイル等の多彩な登山道の整備
-  登山道の標識の統一、多言語化
-  十和田信仰を体感するガイド付き限定歩道の新設
※上記についてはすべてH28より着手

特徴②

長期滞在で温泉・湯治文化を満喫

活発な火山現象を背景とした良好な泉質に恵まれた個性豊かな温泉や旅館で、昔ながらの趣のある温泉文化を楽しむ




-  外国人旅行者の受入体制の強化
-  REVIC※の支援による玉川温泉の再生と連携した魅力向上 (H28より着手)
※地域経済活性化支援機構



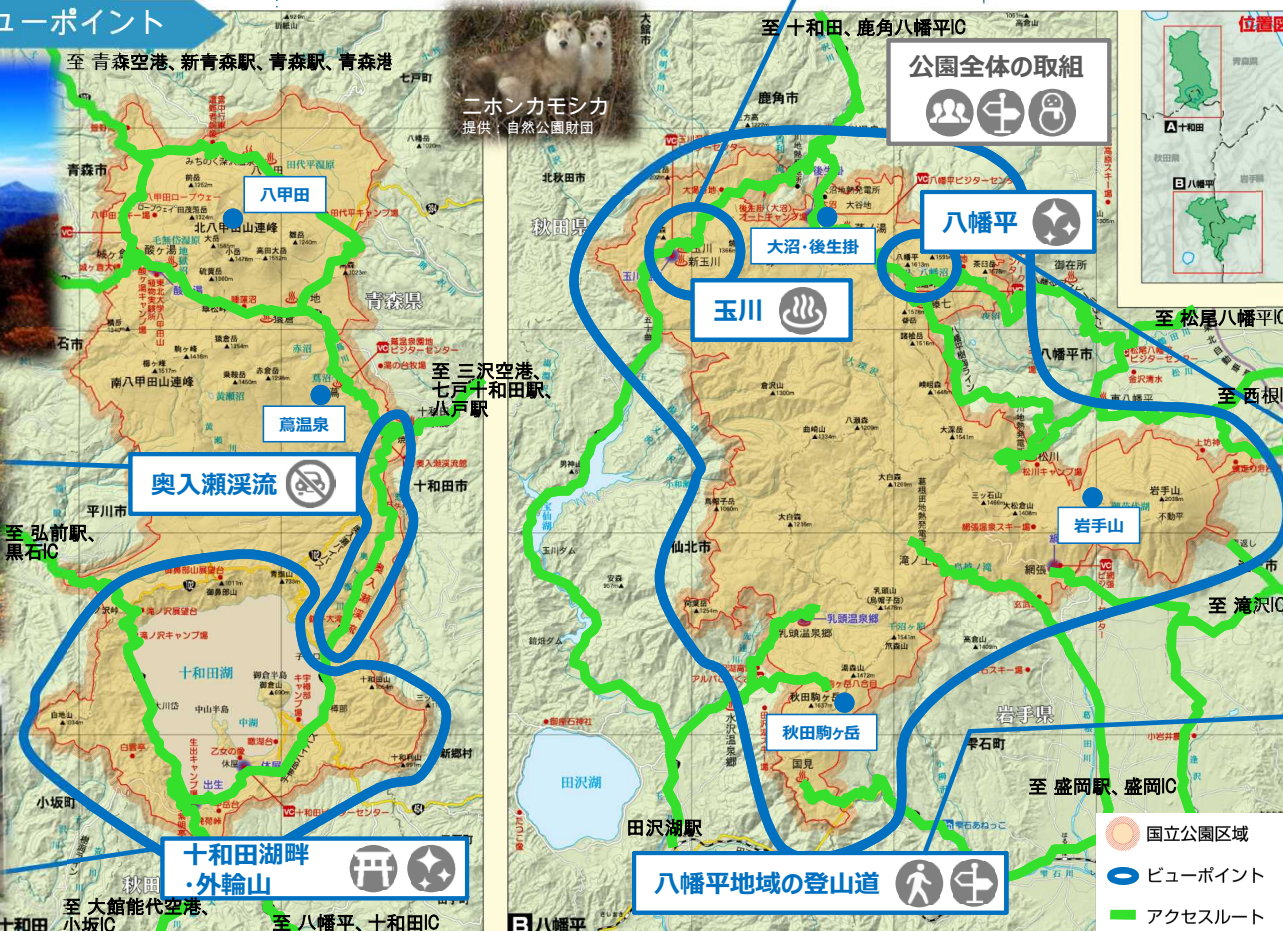
特徴③

国立公園一等地の上質な滞在空間への再生

廃屋などの景観を阻害する施設を撤去する“引き算”の景観改善により、広大な原生林と湖、なだらかな火山群などの世界に誇る傑出した風景を損なわない、魅力的な利用拠点にリニューアル

-  休屋休平地区の廃屋を撤去し、地区全体を総合的に再整備 (H28年度より着手)
-  見返峠の廃屋を撤去し、八幡平登山の入口に相応しくするための総合的な再整備 (H28年度より着手)
-  四季を通じて楽しめるよう冬のアクティビティの充実

ビューポイント



日光国立公園 満喫プロジェクト

NIKKO is NIPPON

自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる東京圏のプレミアムリゾート

(数値目標) 外国人利用者数 19万人(2015年) → 50万人(2020年)
外国人宿泊者数 9.6万人(2015年) → 25万人(2020年)

特徴①

滝・渓谷・湖を堪能する水のアクティビティと多様な温泉

華厳の滝、中禅寺湖、戦場ヶ原、鬼怒川、塩原渓谷など、水を巡る多くの見どころで、トレッキング、ラフティング、キャニオニング、カヌーなどのアクティビティと様々な泉質・色の温泉を堪能



観光案内所や宿泊施設などにおいて、日光国立公園のアクティビティや観光地の情報を一体的に紹介（H29より着手）



レンタサイクルシステムの導入や水上交通など、新しい交通手段の検討・整備による周遊性の向上（H29より一部着手・検討開始）

特徴②

世界レベルの文化を有する歴史的国際観光地

世界文化遺産「日光の社寺」、中禅寺湖畔の旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能



那須平成の森フィールドセンターへ、皇族が親しんだ那須の自然を感じながらゆったり休めるカフェスペースの併設など



ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討（H29より検討開始）



外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築（H29より着手）

特徴③

東京圏で日本の自然・歴史・文化を体感

東京からわずか2時間で日本の高原の自然や歴史文化を体感できることを活かし、交通事業者と連携した取組を推進



自治体・交通事業者・観光事業者等が連携した「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンの実施



JRの豪華寝台列車「四季島」の停車、東武鉄道SL復活運転プロジェクト、日光と那須をつなぐバスの試験運行など、交通事業者との連携による強力な誘客（H29より着手）



パーク&バスライドなどの実施による渋滞対策

ビューポイント



半月山からみた男体山と中禅寺湖

カヌーピクニック キャニオニング



中禅寺湖からみた旧英国大使館別荘



那須平成の森ガイドウォーク



那須平成の森フィールドセンター



JR日光駅観光インフォメーションセンター

伊勢志摩国立公園 満喫プロジェクト

悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海

(数値目標) ~ 外国人利用者数 3.3万人(2015年) → 10万人(2020年) ~

特徴①

里山里海の風景を眺めるゆとりとくつろぎの環境整備

人々の営みと自然が織りなす優れた里山里海の景観を眺めながらゆとりと快適な時間を過ごすことができる環境を整備する



英虞湾を望みゆとりとくつろぐ“天空カフェテラス”の整備等 (H29より着手)



アワビ



海女漁のようす

特徴②

悠久の歴史の中で築き上げられた文化、食、自然を実感する質の高い自然体験

自然と人との関わりの長い歴史の中で築き上げられてきた自然、歴史、文化、食をストーリー性を持った質の高い自然体験プログラムとして提供する



海の幸を提供する海女小屋等との連携



自然、歴史、文化やサミットで提供された県産食材を核とした食のコンテンツを活かしたツアー



地域の自然や文化等に精通し、資源を保全・活用する団体を育成

ビューポイント



横山園地からの英虞湾の眺め

特徴③

人々の営みと自然が織りなす里山里海を将来に引き継ぐ

貴重な資源を末永く活用し、その恩恵を享受し続けることができるよう、美しい里山里海の景観を、そこに暮らす人々とともに保全しながら、将来世代に引き継いでいく



地域住民が国立公園に住んでいることに意義と誇りを持ち、里山里海の景観を自ら保全し、旅行者におもてなしの心を持って接するよう人を育てていく



ナショナルトラスト運動の推進により、地域住民が主体となり伊勢志摩の貴重な自然環境を保全



景観計画の作成及び変更等により太陽光発電施設等の規制検討



里海を体感するエコツアー



干潟再生の取組(干潟の観察会)

阿蘇くじゅう国立公園 満喫プロジェクト

復興の大地～草原のかほり、火山の呼吸。人が継ぎ、風と遊ぶ感動の大地～

(数値目標) ～ 外国人利用者数 68万人(2015年) → 140万人(2020年) ～

ビューポイント



特徴①

広大な草原空間の活用と保全

草原空間を核としたフィールドミュージアム構想を基本とし、草原を体感できる拠点施設整備をはじめ、利用者負担金による草原再生検討

- フィールドミュージアムの拠点として草原を体感する施設整備検討 (H29 より検討開始)
- 野焼き等の継続支援や利用者負担導入の検討による草原再生 (H29 より検討開始)
- 草原景観を楽しむ新たなアクティビティの開発 (ホーストレッキング、スカイスポーツ等)



特徴②

バイク、サイクリングなどで、火山と草原が作り出した雄大な景観を体感するロードパークへ

高い評価を受ける草原のワインディングロードなど、絶景の中を走る道路を活かしてサイクリング・ツーリングコースを設定し、利用環境を整備

- 大景観を堪能できる阿蘇とくじゅうをつないだサイクリングイベントなどの実施
- 外輪山100km一周バイクレースなどの開催の検討
- モンベルと連携したサイクリングなどのアウトドアプログラム開発 (開始済)
- カルデラを一望でき、ライダー等の拠点となる施設の再整備の検討



特徴③

地域特有の文化や湯治文化と連携した新たなツーリズムの創出

農耕祭事や神楽など地域特有の文化や、多様な泉質での湯治文化と連携した、新たなツーリズムを創出

- 食・温泉・文化が融合したONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進 (H29 より開始)
- 世界的に活動する和太鼓アーティストグループ「DRUM TAO」とコラボした劇場・体験施設の整備 (H29 より開始)
- 温泉とマラソンなどを組み合わせたスポーツツーリズムの推進

特徴④

災害の体験を活かし、安全に楽しめる国立公園へ

災害も阿蘇をジオサイトとして作り上げた自然の営みの一つとして捉え、震災遺構を新たなジオサイトとして保存し、観光資源としても活用。また、教訓を踏まえた、災害に対する安全対策を実施

- 活断層や地割れ等の震災遺構を保存し、学習旅行や観光プログラムに盛り込む (H29 より開始)
- 噴火発生時の避難・退避場所の整備、迅速かつ適切な情報発信 (H29 より開始)
- 火山博物館とビジターセンターの一体的な整備の検討

霧島錦江湾国立公園 満喫プロジェクト

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾

(数値目標) ~ 外国人利用者数 7.1万人(2015年) → 20万人(2020年) ~

~ まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食 ~

特徴①

歴史と神話に彩られた活きた火山景観を体感、ここにしかない多様なガイドツアー

天孫降臨神話のある高千穂峰、活火山で現在も噴煙を上げる新燃岳や桜島、海域カルデラ景観が広がる錦江湾など、様々な火山景観をガイド付き限定利用や魅力的なツアープログラムで堪能する。

- 新燃岳周辺や佐多岬灯台周辺でガイド付き限定利用の検討
- 登山と神話をミックスさせたツアープログラムの開発
- ビジターセンターへのツアーデスク設置や登山用品の物販等を検討

特徴②

外国人旅行者も多様な形態の火山の恵み(温泉、アクティビティ等)を満喫

多種多様な泉質の温泉や山と海を見渡せる温泉等を快適に楽しみ、火山湖や海での水上アクティビティや天然温泉掘り等の火山ならではの体験を堪能する。

- 既存温泉施設を外国人旅行者が利用しやすいよう再整備を検討
- SUP、カヌー、カヤック等の水上アクティビティの開発を検討
- 天然温泉掘り・桜島ナイトツアー等既存メニューの磨き上げを検討

特徴③

山から海まで、南九州の自然、文化、食をまるごと満喫

多彩な魅力を持つ3地域を外国人旅行者が公園内を周遊・滞在しながら、南九州の自然、文化、食を満喫する。

- 九州自然歩道や九州奥レ、フットパスなどの連絡会議等と連携し、ゆっくり歩いて楽しむプログラムの開発 (H29より開始)
- 既存文化施設との連携や、地元食を活かしたプログラム開発を検討 (H29より検討開始)
- 上質な宿泊施設の誘致 (H29より開始)

ビューポイント

えびの高原・白鳥温泉



桜島



夷守台・生駒高原



○ 国立公園区域
● ビューポイント
— アクセサルート

1:255,000

慶良間諸島国立公園 満喫プロジェクト




ちゅ
美ら海慶良間 - リトリート・海と島がつくるケラマブルーの世界 -

※訪日外国人の割合 15%
(数値目標等) ~ 利用者数 22.5万人(2015年) → **25.3万人(2020年)** ~
利用者の満足度の向上

特徴①

ゆったり快適な島時間で心をリセット

美しいケラマブルーの海や島が作りだす穏やかな景観の中でゆっくりとした時間を過ごし、島民との交流の中で心を癒やすリトリート

-  島内で快適で充実した時間を過ごせるよう、建築物を沖縄らしい景観に統一し、展望の妨げになる障害物を撤去
-  港近くの公共施設など利用者が集中する施設において、地元の産物を提供するカフェなどを導入し、ゆったりと展望を楽しみながら休憩
-  島内の主要拠点へWi-Fi環境の整備、クレジット決済の導入によりストレスなく滞在





阿嘉島のビジターセンター（イメージ）



特徴②

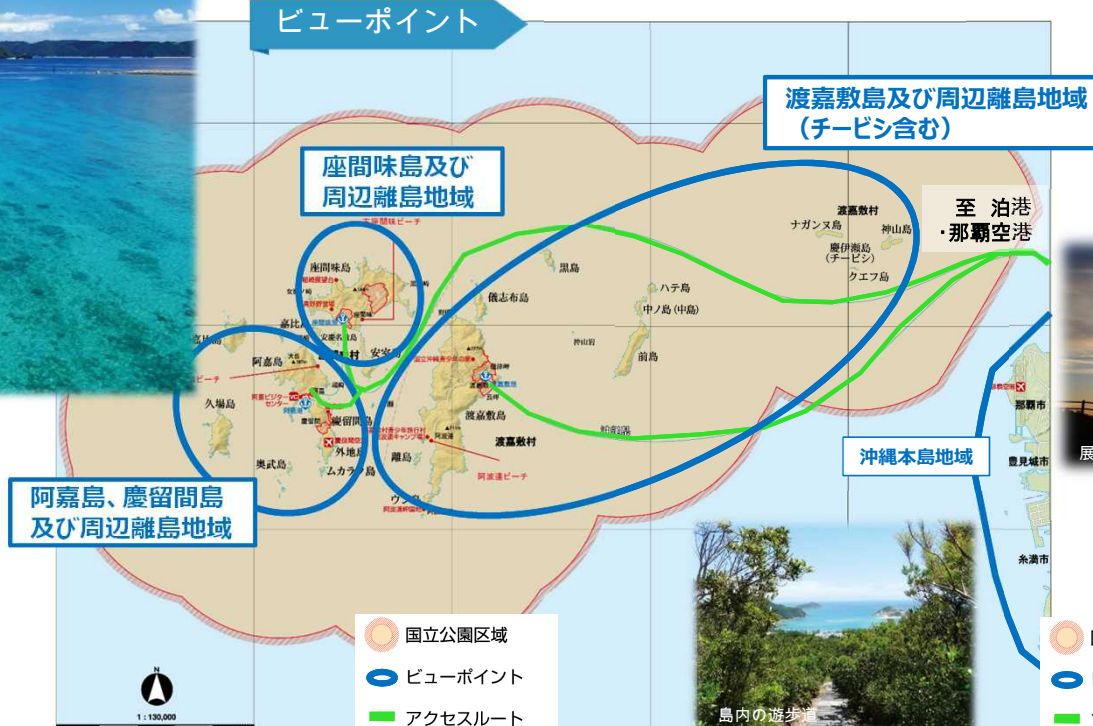
サンゴ礁保全に貢献するエコツーリズム

サンゴ礁など島の自然を保全しながら持続的に活用していくため、利用者が保全に貢献する仕組みを構築

-  入域の際に環境協力税を徴収し、自然環境の保全等へ活用（H29より検討開始）
-  阿嘉島のサンゴ養殖施設で育てたサンゴにより、自然再生活動の体験プログラムを提供






ビューポイント



特徴③

一年中楽しめる海と陸のアクティビティー

慶良間諸島の最大の魅力である美しい海を外国人旅行者にも楽しめるように受け入れ体制を強化。利用の集中する夏の海だけでなく、冬期でも楽しめる新たな魅力の発信や、陸域の利用を推進

-  既存のエコツアー、ダイビングプログラムなどを外国人旅行者に提供できる体制を構築
-  冬期に陸から見えるホエールウォッチングを推進
-  陸域のアクティビティー開発、コース設定、ガイド育成を実施
- 様々な景色が楽しめる魅力的な展望台を巡る島内のウォーキングコースを設定し、自然や歴史に関する解説板を設置



- 国立公園区域
- ビューポイント
- アクセスルート

ビジターセンター情報発信強化プロジェクト

1. 目的

政府の新たな観光戦略である「明日の日本を支える観光ビジョン(平成 28 年 3 月)」において、国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化し、2020 年までに、外国人国立公園利用数を年間 430 万人から 1000 万人に増やすこととされている。

これを受け、「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは 8 カ所の国立公園で先行して、保護すべきところは保護しつつも、利用の大幅な拡大を図るための取組を推進している。

今回この動きと連動して、訪日外国人を含む国立公園来訪者が、より公園を楽しめるよう、環境省の国立公園の拠点であるビジターセンター等(*)において、どのように情報提供するかについてソフトハード両面でまとめるため、「ビジターセンター情報発信強化プロジェクト」を立ち上げるものである。

* 今回いうビジターセンター等とは、国立公園において展示・解説・案内などにより、自然や景観並びに必要な情報を提供し、公園の適切な利用を促す施設のこと。環境省が設置したエコミュージアムセンター、インフォメーションセンターなどビジターセンター以外の名称を使うものであっても上記目的を果たすものは今回の対象となる。

2. 主な検討事項

ビジターセンター等で提供する情報のあり方と提供手段について

上記観点も踏まえた今後のビジターセンター等の整備及び管理運営の方針について

3. 検討のスケジュール等

1月 プロジェクト発足

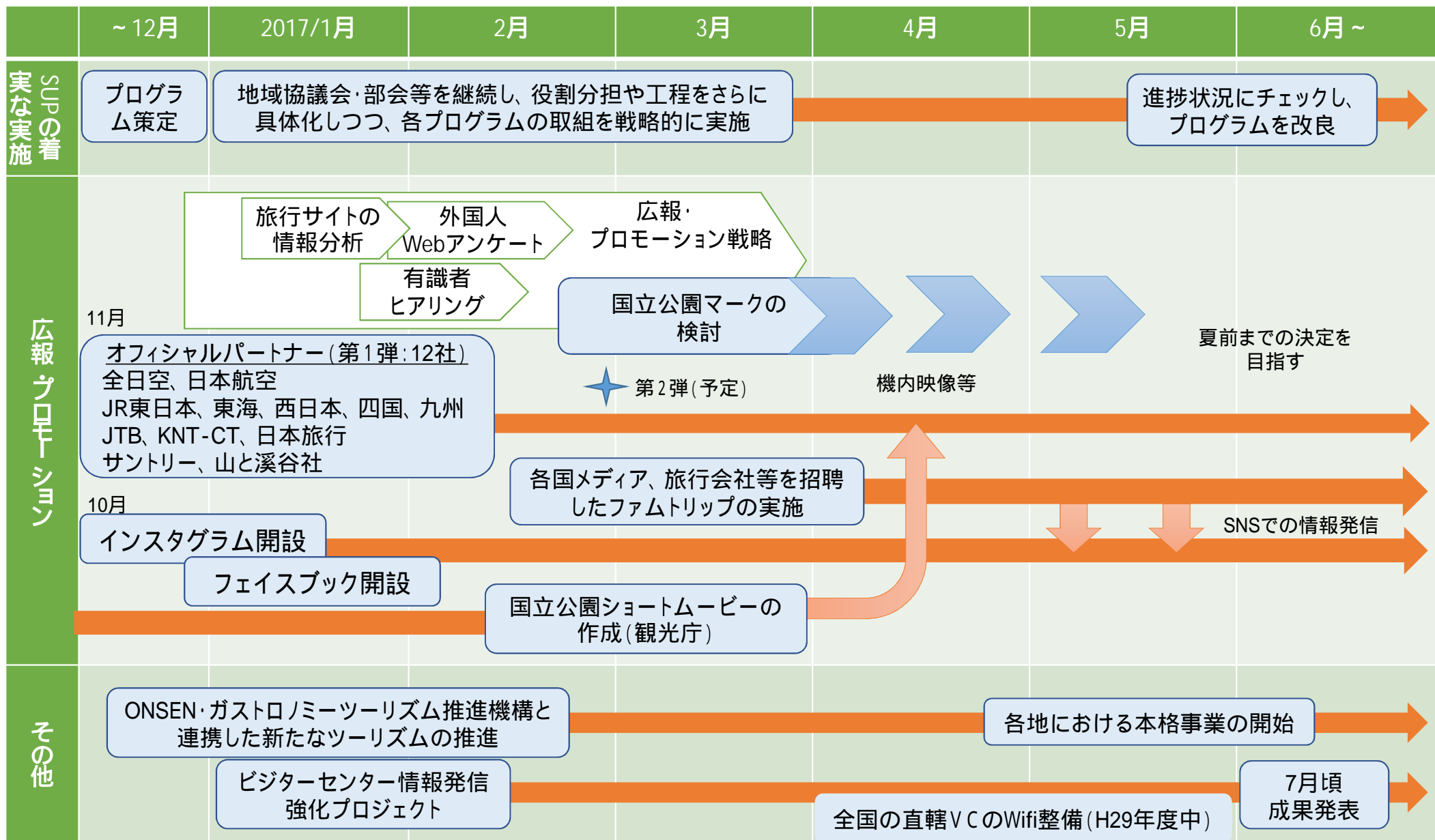
- ・ 関副大臣のもと、自然環境局長、局内の 3 課長（総務課、国立公園課、自然環境整備課）、国立公園利用推進室長等のチームを設置(別添)。
- ・ 月 1 回程度のペースでチームで議論を行う。この中には、有識者ヒアリングや現地視察を含む。

7月頃 とりまとめ、成果発表

選定8公園を中心とした今後の取組について

地域協議会や部会等を継続し、各ステップアッププログラムで設定した目標も踏まえ役割分担や工程をさらに具体化しつつ、地域協議会において地元合意がなされたプログラムの取組を戦略的に推進。進捗状況をチェックし、プログラムをさらに改良。

海外発信やビジターセンターでの情報発信強化などを間断なく実施。



国立公園満喫プロジェクトの 今後の進め方について

資料2

現状

先進的、集中的に 取組を行う公園 (選定された公園)

【8公園】

- ・公園単位で地域協議会設置
- ・総合的な施策を展開

選定要望をした その他の公園

【8公園】

- ・公園内の限定した地域において施策を実施予定

上記以外の公園

【17公園】

- ・基盤整備や海外発信等を中心に推進

課題

2020年に向け、全国の公園にどのように効果的・効率的に取組を広げていくか

- ・1000万人の目標達成に向け、どのように取組を進めるか
- ・選定された8公園で、日本の多様な公園の魅力を外国人訪日客に伝えきれているか
- ・関係都道府県が多い公園にどのように取組を広げていくか
- ・全国に成果を効果的・効率的に波及させるためにどのように取組を広げていくか

国立公園別訪日外国人利用者数推計値等

当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の調査票情報を利用し、算出したもの。
 「訪日外国人消費動向調査」は国籍・地域毎に回収目標数の抽出率が異なるため、母集団構成に合わせることを目的として、本年より、四半期別および国籍・地域別ウェイトバック集計を行う方法に見直した。(平成27年分も再計算している。)

公園名	訪日外国人数								関係都道府県
	H27				H28[暫定値]				
	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	アジア系 (%)	欧米系 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	アジア系 (%)	欧米系 (%)	
1 利尻礼文サロベツ	5	31.6%	-	-	14	21.1%	76.2	23.8	北海道
2 知床	21	15.4%	81.0	19.0	28	14.5%	97.1	2.9	北海道
3 阿寒	63	8.9%	98.4	1.6	58	10.2%	97.7	2.3	北海道
4 釧路湿原	34	12.0%	79.7	20.3	27	15.0%	87.3	12.7	北海道
5 大雪山	64	8.8%	96.9	3.1	83	8.5%	97.9	2.1	北海道
6 支笏洞爺	688	2.6%	92.3	6.0	827	2.7%	94.9	5.1	北海道
7 十和田八幡平	7	26.7%	-	-	22	16.6%	86.4	2.5	青森県、岩手県、秋田県
8 三陸復興	10	22.4%	65.0	35.0	16	19.2%	62.4	37.6	青森県、岩手県、宮城県
9 磐梯朝日	0.5	100.0%	-	-	4	39.4%	81.9	18.1	山形県、福島県、新潟県
10 日光	190	5.1%	56.4	35.0	241	5.0%	59.7	27.7	福島県、栃木県、群馬県
11 尾瀬	-	-	-	-	2	53.2%	100.0	0.0	福島県、栃木県、群馬県、新潟県
12 上信越高原	214	4.8%	81.9	16.2	265	4.7%	84.4	14.9	群馬県、新潟県、長野県
13 秩父多摩甲斐	19	16.2%	60.5	18.4	22	16.5%	83.4	16.6	埼玉県、東京都、山梨県、長野県
14 小笠原	-	-	-	-	0	133.5%	100.0	0.0	東京都
15 富士箱根伊豆	2,341	1.4%	87.5	9.2	2,577	1.4%	84.5	11.4	東京都、神奈川県、山梨県、静岡県
16 中部山岳	338	3.8%	68.3	23.3	351	4.1%	67.2	23.6	新潟県、富山県、長野県、岐阜県
17 妙高戸隠連山	8	24.2%	-	-	6	32.5%	29.9	70.1	新潟県、長野県
18 白山	3	40.8%	-	-	1	66.3%	68.1	31.9	富山県、石川県、福井県、岐阜県
19 南アルプス	-	-	-	-	1	93.6%	100.0	0.0	山梨県、長野県、静岡県
20 伊勢志摩	33	12.2%	79.1	20.9	61	9.9%	84.9	11.1	三重県
21 吉野熊野	53	9.7%	72.9	19.6	59	10.1%	76.2	19.7	三重県、奈良県、和歌山県
22 山陰海岸	32	12.4%	61.5	32.3	50	10.9%	84.0	16.0	京都府、兵庫県、鳥取県
23 瀬戸内海	296	4.1%	67.7	26.1	310	4.0%	61.0	32.3	大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県
24 大山隠岐	6	28.9%	-	-	14	20.8%	85.5	14.5	鳥取県、島根県、岡山県
25 足摺宇和海	0.5	100.0%	-	-	5	35.4%	59.9	40.1	愛媛県、高知県
26 西海	55	9.5%	82.7	17.3	74	9.0%	66.8	24.6	長崎県
27 雲仙天草	28	13.2%	87.7	5.3	29	14.4%	82.1	2.8	長崎県、熊本県、鹿児島県
28 阿蘇くじゅう	682	2.7%	97.5	1.4	675	2.9%	99.0	0.7	熊本県、大分県
29 霧島錦江湾	71	8.3%	90.9	6.3	79	8.7%	97.0	3.0	宮崎県、鹿児島県
30 屋久島	10	22.4%	25.0	55.0	17	19.0%	59.5	26.0	鹿児島県
31 やんばる	-	-	-	-	-	-	-	-	沖縄県
32 慶良間諸島	-	-	-	-	-	-	-	-	沖縄県
33 西表石垣	12	20.4%	58.3	25.0	14	20.8%	73.2	26.8	沖縄県
合計(選定された8公園)	1,052	-	88.8	8.7	1,150	-	89.4	7.4	
合計(各公園計)	5,284	0.8%	85.0	11.5	5,932	0.9%	84.3	12.1	
合計(実利用者数)	4,902	0.9%	86.7	10.1	5,457	0.9%	85.6	11.3	
訪日外客数全体 *2	19,737	-	16,646	2,985	24,039	-	20,103	2,956	
...選定された8公園									
...参考値 *3									

*1 推計実利用者数:当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数、1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用して1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1人の利用者が2つの公園を訪れると2人と数え、合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れても1人と数える。千人単位で四捨五入している。

*2 訪日外客数全体:出典:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」。平成28年1月-10月の数値は暫定値、11月、12月の数値は推計値。

*3 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用する際には、信頼性の低い参考値であることを明記し、その旨を理解して使用すること。

「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。平成27年データの「尾瀬国立公園」、「小笠原国立公園」、「南アルプス国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。

先導的モデルとなる国立公園の選定について

選定のメルクマールを有識者会議の議論を踏まえて設定

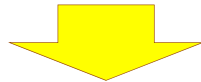
1. 地元の熱意と仕組み

- 地元の主体性、推進体制の構築
- インバウンド増加に係る戦略・計画の策定
- 自然環境（景観を含む）を損なうことのない適正な利用の担保

2. インバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）

- 観光資源としてのポテンシャル
- 幅広い主体（観光庁・文化庁・民間等）との有機的連携のポテンシャル

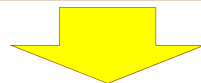
3. 特徴あるテーマ性、モデル性



自治体（道県）から要望があった国立公園は16公園

- ・阿寒国立公園（北海道）
- ・日光国立公園（栃木県）
- ・富士箱根伊豆国立公園（静岡県）
- ・妙高戸隠連山国立公園（長野県）
- ・吉野熊野国立公園（和歌山県）
- ・大山隠岐国立公園（鳥取県、島根県）
- ・雲仙天草国立公園（長崎県）
- ・霧島錦江湾国立公園（鹿児島県、宮崎県）
- ・十和田八幡平国立公園（青森県、秋田県、岩手県）
- ・上信越高原国立公園（長野県）
- ・中部山岳国立公園（富山県、岐阜県）
- ・伊勢志摩国立公園（三重県）
- ・瀬戸内海国立公園（兵庫県、香川県）
- ・足摺宇和海国立公園（高知県）
- ・阿蘇くじゅう国立公園（熊本県、大分県）
- ・慶良間諸島国立公園（沖縄県）

締め切りまでにメルクマールに沿った総合的評価が可能な情報をいただいた道県に限る



メルクマールに沿って、総合評価を行った結果、8つの公園を候補として選定

選定された公園では複数のビューポイント（重点取組地域）において先行的、集中的に取組を推進

要望があったその他の公園についても1,2か所のビューポイントにおいて、それぞれの特性に合ったハードやソフトの取組を実施

全国の国立公園に展開！！

2020年までに訪日外国人の国立公園利用者数を1000万人に！

国立公園満喫プロジェクト実施箇所の選定にあたっての 基本的な考え方

本プロジェクトは最終的には全国32の国立公園で実施していくものであり、まずは「先導的モデル」となる国立公園を選定して集中的に対策を実施し、その成果を全国に展開することとしている。

このため、選定にあたっては、地元の熱意やそれを支える仕組み（体制や担保措置）やインバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）が揃っていることが必要である。

加えて、「先導的モデル」となる特徴的なテーマ性、モデル性にも配慮する。

1. 地元の熱意と仕組み

地元の主体性、推進体制の構築

- ✓ 関係都道府県及び市町村が揃って要望するなど地域が一体となって取り組む体制ができているか？（関係自治体に予算の確保や体制の整備などの主体的に取り組む意志があり、持続的、長期的に取り組む意志があるか？）
- ✓ 地域に根差し持続的な組織であるDMO等の観光推進組織が設立され、当該団体の積極的な関与の意志があるか？
- ✓ 地域観光に影響力があるリーダーが熱心に取り組む意志があるか？
- ✓ 若い世代を含めた人材を確保する仕組みがあるか？

インバウンド増加に係る戦略・計画の策定

- ✓ 数値目標等を有する具体的な戦略・計画があるか？（関係自治体の合意状況含む）
- ✓ 景観統一（民間施設含む）などに関する具体の担保措置があるか又は検討されているか？（検討にあたっては、対象地やスケジュールが具体的であるか）
- ✓ 国立公園（公園に通じるアクセス道路等を含む）のサインの統一等による国立公園をキーワードとした告知・PR戦略があるか又は検討されているか？（検討にあたっては、対象地やスケジュールが具体的であるか）

自然環境（景観を含む）を損なうことのない適正な利用の担保

- ✓ ビューポイント（重点取組地域）ごとの自然環境を損なわずに利用者を増やす余地があり、それが適切に評価されているか？
- ✓ ビューポイントごとのオーバーユースに関する対策について、マイカー規制やエコツーリズム全体構想等の具体の担保措置があるかまたは検討されているか？（検討にあたっては、対象地やスケジュールが具体的であるか）
- ✓ ビューポイントごとのオーバーユースに関するモニタリング、評価の体制があるか？

2. インバウンドを伸長する潜在力（ポテンシャル）

観光資源としてのポテンシャル

ビューポイントの訴求力の具体性や有効性

- ✓ 長期滞在に資する多様なアクティビティや多様な利用者のニーズに対応できる宿泊施設が提供できるか？
- ✓ 各国立公園のブランドを高めるストーリー性のある一連のアクティビティが提供できるか？

（特に）外国人利用者への訴求力

- ✓ 多くの外国人利用者を惹きつける魅力のある、又は、磨くことで外国人利用者を惹きつけられる観光資源があるか？

幅広い主体（観光庁・文化庁・民間等）との有機的連携のポテンシャル

広域観光周遊ルートや日本遺産等との連携

- ✓ 広域観光周遊ルートに組み込まれているか？
- ✓ 日本遺産等と連携した、新たな取組の可能性はあるか？
- ✓ 鉄道、バス事業者、旅行業者などの民間事業者とのタイアップが期待できるか？

3. 特徴あるテーマ性、モデル性

個性あるテーマをもった観光資源の提供（例 広大な自然、温泉、エコツーリズム、文化）

- ✓ 手つかずの大自然が広く残され、それが損なわれることなく、利用者が体感することができるか？
- ✓ 温泉を魅力ある観光資源として国立公園のインバウンド増加に結びつけることができるか？
- ✓ 地域における自然や食、歴史文化、独自のライフスタイル、風土、信仰等を観光資源として活用し、自然や文化に配慮したツーリズム（エコツーリズム）に地域を挙げて取り組んでいるか？

災害からの復興

- ✓ 災害の影響による急激な利用者減に対して、それを反転するための提案があるか？

質を重視する個人旅行者への訴求力（モデル性）

- ✓ 将来的に、外国人旅行者のニーズとして、長期滞在や質の高い宿泊施設利用、文化的な側面を含めた体験などの志向が高まることも見据え、質を重視する個人旅行者の割合の高い欧米からの旅行者が多く訪れているか？